Rotary 2017–2018 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2月号
2018.2.1
No.08

宮崎科学技術館

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

2017-2018年度国際ロータリーテーマ

国際ロータリー第2730地区
2017-2018年度　ガバナー理念

〝ロータリーを知り、理解を深めよう〟

押川弘巳（OSHIKAWA HIROMI）ガバナー事務所

〒880-0817　宮崎市江平東町6−6　TEL（0985）77−5850 FAX（0985）77−5851
E-mail:2017-18.osikawa-g@ri2730.org

2018.2.1 No.08

CONTENTS

ガバナー挨拶 1

ガバナー公式訪問報告

宮崎西部分区
えびのロータリークラブ 関田 徳弘 2
小林ロータリークラブ 宮原 義久
小林中央ロータリークラブ 入佐 貫一
都城ロータリークラブ 下森 康玄 3
都城北ロータリークラブ 中村 かよ
都城西ロータリークラブ 外山 俊明
都城中央ロータリークラブ 牛鼻 浩志 4
2730ジャパンカレントロータリー Eクラブ 今福 修吾
宮崎南部分区
日南ロータリークラブ 阿部 政廣
日南中央ロータリークラブ 坂本 哲夫 5
串間ロータリークラブ 英 保彦
鹿児島奄美分区
奄美ロータリークラブ 柏 啓輔
奄美中央ロータリークラブ 新納 誠人
奄美瀬戸内ロータリークラブ 東 武蔵 6
鹿児島東部分区
志布志ロータリークラブ 竹井 克実
志布志みなとロータリークラブ 岡田 琢也
串良ロータリークラブ 濱上 正信 7
鹿屋ロータリークラブ 奥村 勝利
鹿屋西ロータリークラブ 池田志保子 8
かのや東ロータリークラブ 八木申一郎
きもつきロータリークラブ 田中 俊治
南九州大崎ロータリークラブ 市坪 新悟 9

インターアクトクラブ歳末たすけあい募金活動報告

鹿児島RC新春合同例会報告 10

鹿屋西ロータリークラブ 12
創立40周年事業を終えて

Eクラブ便り 13

えびのロータリークラブ夫人の会 14
「クリスマスローズの会」活動報告

文庫通信

地区行事日程 15

12月の寄付金傾向 16

12月出席報告・入退会報告 17

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義有る事業の基礎として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること

第4 奉仕の理想に結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

4つのテスト THE 4-WAY TEST

言行はこれに照らしてから
Of the things we think, say or do.

1. 真実かどうか
IS it the truth?

2. みんなに公平か
Is it fair to all concerned?

3. 好意と友情を深めるか
Will it build goodwill and better friendship?

4. みんなのためになるかどうか
Will it be benefical to all concerned?

ガバナー挨拶

ＲＩ第2730地区ガバナー　押川　弘巳

皆さんこんにちは

月信も今月号が終わると、後4回にて終了となります。あれも書こう、これも書こうと考えていましたが、意外とかけないものですね。

然しながら、内部での改革は、燎原の炎が少しずつ燃え広がり、着々と進んでいるのを見ますと、役員の皆様方のやる気には実に頼もしい限りで、力強さを覚えます。

組織が衰退しない根本は、クラブがサロン化しない事、次いで各委員長さん方が前年通り、とか、前例に倣ってとか、やる気のないクラブ活動計画書を作るのではなく。

数年後になって振り返ったとき、あの年度では私はあれをやった、と地区・クラブの歴史に名を残し他に誇れるような、事業を是非考えて頂きたく、頑張って欲しいと考えています。

ガバナー年度の最大の行事である鹿児島・宮崎の65クラブのガバナー公式訪問を7月10日の奄美クラブよりスタートし、11月10日の宮崎西クラブ迄の4ヶ月間基本的には1日1クラブ消化を目標に訪問してきましたが、それも無事終了し後は、年度の残りを、次年度の行事の協力、そして海外訪問に取り組みます。

スケジュールは３月の台湾高雄の日台親善会議、４月の韓国蔚山の地区大会、５月釜山の地区大会、その間に所属クラブの台北訪問（この高雄・台北の訪問で念願の日台の姉妹地区提携の筋道を付けたい所存です）そして最後が６月のカナダトロントの国際大会と続きますが、問題は遠方であるカナダの国際大会ですが、各地区、何名で行くか人数の競い合いになっているようです。

わが地区も、最後の年度行事を多数の出席で飾れれば、この上もない幸せであると思いますので、ぜひ皆様のご協力をお願い申し上げる次第でございます。

ガバナー公式訪問報告

宮崎県西部分区　えびのロータリークラブ

会長　関田　徳弘

押川弘巳ガバナー公式訪問では、午前中の懇談会から始まり、昼食をはさんでの例会・クラブフォーラムまで、多岐にわたるご指導をいただいた。

その主な内容は、①会員の減少と平均年齢の高さについては、若い世代と女性を入会させる工夫をする。②規定審議会への対応では、例会の回数、例会の時間、例会時の食事の有無、例会の出席要件等を柔軟に検討する。金のかからない運営をする。③現在の認証ポイントを使い、全会員がポール・ハリス・フェローを取得できる。④町づくり・地域づくりの継続プログラムを考えること。⑤ロータリークラブの認知度を高める活動が必要である。

ガバナー公式訪問は、押川ガバナーの気さくな人柄で和やかに開催できました。ご指導いただいた件はえびのＲＣの現状を的確にご指摘いただいたもので、これらの実現に向けて会員一同努力いたします。ガバナー・ガバナー補佐のご指導に感謝いたします。

宮崎県西部分区　小林ロータリークラブ

会長　宮原　義久

10月4日、押川弘巳ガバナー、外勢撤男ガバナー補佐、今村康廣地区財務委員長をお迎えして、新築されたばかりのKITTO小林(小林駅)2Fにおきまして、ガバナー公式訪問が開催されました。まず会長・会長エレクト・幹事の懇談会にて、会員の増強(女性会員の増強に力を入れる。)、例会のあり方、マイロータリーの活用、研修委員会の充実などについて、ご指導を頂きました。その後、例会に移りクラブの会員増強の現状、クラブ研修委員長よりクラブ研修について、小林ロータリークラブとしての現状や考え方につきまして、発言させて頂きました。その後、カバナーより各種の改革や顔の見えるロータリー活動、退会防止と会員の増強の考え方や増強にあたっての手法等について、意見を賜りました。その後、外勢ガバナー補佐からも発言頂きまして、大変有意義な公式訪問となりました。翌日には、小林・小林中央・えびの各ロータリークラブの合同懇親会を計画させて頂き、カバナー・カバナー補佐と貴重な意見交換の場となりました。

宮崎県西部分区　小林中央ロータリークラブ

会長　入佐　貫一

10月3日に、小林市が駅前の再開発事業の一環として新設したKITTOにて、押川弘巳ガバナー、外勢ガバナー補佐をお招きし、公式訪問を開催しました。まず、当クラブのチャーターメンバーであり、親愛なる仲間でありました、故池井正廣会員へ黙祷から始まりました。私達、小林中央ロータリークラブの今季のテーマである「和気あいあい」を軸として今後の会員増強やこれからのクラブ方針を入佐会長の方から説明しました。

その後、押川ガバナーより、柔軟性のあるロータリーについて講話を頂き、これからのロータリーのあり方、時代との整合性のつけ方など、今後出てくる問題提起と、解決の糸口を教えていただき、非常に有意義な指導をいただきました。

押川ガバナー、本当にありがとうございました。

宮崎県西部分区　都城ロータリークラブ

会長　下森　康玄

10月13日に押川ガバナー、外勢ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問が行われました。

例会に先立ち、押川ガバナー、外勢ガバナー補佐と当クラブの副会長、幹事、副幹事とで意見交換会を行いましたが、その中で多数のご質問・ご指摘等頂き、的確なご指導を賜りました。

各クラブの一番の決定機関は各クラブの理事会にあること、クラブの細則は必要に応じて変えていくことが大切であること等があり、例えば、月2回の例会を行えばそれが週2回であろうと曜日が変わろうと早朝・昼間・夜間であろうと、自由に変更していくことができる等です。今後のクラブ運営方針を進めていくにあたり、大変有意義な時間でした。

そして、例会場ではロータリーの基本や変化の過程を細部に亘り具体的に説明して頂く等、充実した時間になりました。

宮崎県西部分区　都城北ロータリークラブ

会長　中村　かよ

2017年10月10日、押川弘己ガバナー、外勢徹男ガバナー補佐、長嶺貴臣地区幹事をお迎えして「ガバナー公式訪問例会」を開催させて頂きましたことをご報告致します。

ガバナーアドレスでは、規程審議委員会にて決議された内容を懇切丁寧にご教授下さり、今後のクラブ運営に大いに参考になるお話をクラブ会員一同にて理解を深められたと感じております。と同時にクラブの裁量権を大いに活かし長期計画を戦略的に積み上げていきながら、地域のニーズにも益々応えられるようなクラブへと発展させていけるよう努めて参りたいと感じました。

クラブフォーラムでは、当クラブの中村崇志委員長より「クラブ研修委員会の取り組み状況」を報告させて頂きました。そして、西村和芳委員長からは「戦略計画」をユーモア溢れる表現で発表して頂きました。

大変有意義なガバナー公式訪問例会であったと感じております。押川ガバナーの今後益々のご活躍を都城の地より念じております。

この度のご訪問誠にありがとうございました。

宮崎西部分区　都城西ロータリークラブ

会長　西山　忠彦

文･幹事　外山　俊明

10月11日、押川ガバナー、外勢ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問がありました。例会前の西クラブ役員との懇談会、また例会内のガバナーアドレスで、2016年ＲＩ定款変更に伴うクラブの細則変更について、質問があり、定款内容の解釈の違いにより、細則に一部ご指摘がありました。

クラブフォーラムでは、中山会長がクラブ戦略について発表しました。時代の変化と共にロータリーも変化してきているが、ロータリーには変えてはならないという理念があり、基本に立ち返りもう一度見直さなければならない時に来ている。また、クラブ運営管理については、時代の流れに沿って変化しなければならない。その為にも地区大会、ＩＭ，地区研修協議会、ＲＬＩ等に多くの会員が参加できるように登録料等クラブで支援をしていく必要がある。特に入会間もない会員には積極的に参加してもらい、ロータリーを理解してもらう、そこから会員増強につなげていきたい。また、西クラブが長期計画で掲げている、青少年育成についても少年野球大会をはじめ、これまで進めてきた活動を継続して取り組んでいきたいと発表しました。

延べ３時間余りの充実した公式訪問でありました。

宮崎西部分区　都城中央ロータリークラブ

会長　永倉喜一郎
文･幹事　牛鼻　浩志

10月12日（木）ホテル中山荘にて、2017年-2018年度・国際ロータリー2730地区：押川弘巳ガバナー、外勢徹男ガバナー補佐をお迎えしてのガバナー公式訪問を開催致しました。

公式訪問例会のご挨拶の中で「クラブ運営の柔軟性」についていくつか事例を述べられ　①例会スケジュールの変更　②例会の方法を変更　③出席要件の緩和　④複数の会員種類を提供　⑤ローターアクターがクラブに入会するなど会員減少を解消する為の方法をいろいろとご指南いただき大変ためになるお話をいただきました。

クラブフォーラムでは当クラブの会員から３名の方に「会員増強について・・・」「今後どんなクラブとしてあり続けたいか」など当クラブの展望についての発表をしてもらいました。最後は押川弘巳ガバナーより好評をいただき時間が若干超過したのですがその分ロータリークラブに対しての熱心さが逆に伝わってきた非常にためになる例会でした。誠にありがとうございました。

宮崎西部分区 2730ジャパンカレントロータリー Eクラブ

会長　今福　修吾

9月15日（日）、押川弘巳ガバナー、片地昭次地区筆頭副幹事、外勢徹男宮崎県西部分区ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を行いました。当Ｅクラブは通常インターネット上で例会を実施しているため、2730地区地区事務所を借用し開催いたしました。

初めに、会長・会長エレクト・幹事との懇談会では、押川ガバナーより「当Ｅクラブは平均年齢50歳、年齢構成も30代から80代、男・女の比率も高く理想的である。」と賛辞の言葉をいただき、合わせて「会員数が23名と少なく、様々な活動を行う上では35名程度まで増やす必要がある。10年後、20年後を見据えて若い世代を入会させた方が良い。」とのご助言をいただきました。

その後開催したガバナー公式訪問例会での「ガバナーアドレス」では、2017-18年度 RI会長テーマ「ロータリー：変化をもたらす」及び2730地区の取り組みについて、わかり易くご説明していただき、今年度の地区目標である「会員純増１名の達成」を当Ｅクラブ参加者で確認をしました。

当Ｅクラブ会員である菊地パストガバナーに書いていただいた「入りて学び、出でて奉仕せよ」の掛け軸も例会に花を添えました。

宮崎南部分区　日南ロータリークラブ

会長　阿部　政廣

9月20日（水）押川弘巳カバナー、坂本哲夫ガバナー補佐をお招きして、公式訪問が開催されました。スケジュールとしては、会長・会長エレクト・幹事懇談会の後、12時30分から例会行事、記念写真撮影、その後クラブ・フォーラムという順序で進められました。

午前の懇談会では、クラブの戦略計画や、「マイ・ロータリー」への登録と利用促進について提言をいただきました。例会行事では入会セレモニーを行い、押川ガバナーからロータリーバッジを着けていただき、今回の入会により会員数が33名となり、純増1名まであと２名となりました。

記念撮影の後、クラブフォーラムが行われ、①戦略計画について、②クラブ研修委員会の取り組み状況について、③会員増強について討議し、今後の魅力あるクラブ運営に多いに参考となりました。

宮崎南部分区　日南中央ロータリークラブ

会長　坂本　哲夫

2017年9月19日(火)にガバナー、地区幹事にお越し頂き、当クラブのクラブハウスにて公式訪問を行いました。

公式訪問では、地区の方針を解りやすくご説明頂き、クラブ運営のありかたや、定款細則の活用や応用、my rotaryの活用の大切さ、便利さを解りやすく教えてくださいました。当クラブでも活用して行きたいと思います。クラブ運営、会員増強など、たくさんの課題はございますが、頑張っていこうと身が引き締まりました。ガバナー、地区幹事、たくさんのアドバイスを頂きありがとうございました。

宮崎南部分区　串間ロータリークラブ

会長　英　保彦

2017年9月21日（木）、押川浩己ガバナーを迎えて公式訪問例会が開催されました。11時よりガバナー・ガバナー補佐・会長・幹事・会長エレクトとの懇談会を行い、それぞれの現状・課題・目標等について話し合いをしました。昨年の規程審査会にて定款の見直しがなされ、例会の方法や出席の方法、会員増強の取り組みなど、多様なご指導を頂くことができました。

その後、12時30分より、会員も加えて例会プログラムを開催。昼食後、ガバナーアドレスを行い、質疑応答の時間を多く設け、ガバナーと会員のコミュニケーションをとることができました。楽しいクラブでないと会員は増えないし、長続きしない。今後は5年後10年後を見据えて、戦略的な増強をしていかないとクラブの存続はないとアドバイスも頂き有意義な訪問例会になりました。

鹿児島奄美分区　奄美ロータリークラブ

会長　柏　啓輔

2017年7月13日（木曜日）奄美サンプラザホテルにおいて2019ー2020年度押川弘巳ガバナー　恵原龍三郎奄美分区ガバナー補佐　長嶺貴臣地区幹事出席のもと、ガバナー公式訪問例会が実施されました。

ガバナーアドレスにおいて、①規定審議会における規定の改定について②世界的な会員の減少（特に日本ロータリアンの減少が著しい）について③日本の会員の減少によるゾーン数の減少（３ゾーンから2.5ゾーンへ、RI理事２名から１名へ）について④中長期的戦略計画の実践の重要性について⑤職業奉仕におけるこれまでの倫理運動から倫理実践運動重要性について　多角的観点から機知に富んだお話であった。

鹿児島奄美分区　奄美中央ロータリークラブ

会長　新納　誠人

奄美中央ロータリークラブは、押川年度ガバナー公式訪問を7月11日に第2730地区の公式訪問スタート一番目として、訪問を頂きました。

到着早々、ロータリー公園視察及び、記念写真、そのあと息つく間もなく、地元新聞社２か所への表敬訪問を行いガバナー補佐、会長、会長エレクト、幹事と押川ガ

バナー、長峰地区幹事との懇談会の後に例会に於いて、全会員にガバナーアドレスを頂きました。

そして、記念撮影の後に「クラブ研修委員会の取り組みの状況」「戦略計画について」をテーマに充実したクラブフォーラムを行い、押川ガバナーには会員からの質問に丁寧に熱意ある回答を頂きありがとうございました。

奄美分区３クラブの公式訪問の中日には、３クラブ合同の歓迎懇親会を賑やかに行い、押川ガバナー、長峰地区幹事共に二次会までお付き合いをお頂き、かなりの黒糖焼酎を召されたのではと思います。

私、個人としてはガバナー、地区幹事の過密スケジュールを伺い、ただただびっくりし、とても、とても真似できるレベルではないと、お二人のロータリー愛と、情熱に感服、尊敬の念を抱いた公式訪問でした。

鹿児島奄美分区　奄美瀬戸内ロータリークラブ

会長　東　武蔵

7月12日水曜日、押川弘巳ガバナー御一行様をお迎えし、公式訪問を開催しました。例年通り万全の受け入れ態勢を行ったつもりでしたが、都合によりいつもの例会場が使用できず、他の会場に変更しました。また、当地区の建設業界の大御所の葬儀と例会時間が重なり、急遽、例会時間を変更するなどでガバナー御一行様には失礼な対応となり大変申し訳ございませんでした。

26年目を迎えた奄美瀬戸内ロータリークラブです。クラブの悩みは、会員数の減少です。押川弘己ガバナーからアドレスの中で「会員減少を防止するには、まず退会者を出さない、入会3年未満の会員にロータリーの理念を教え込んでいく、女性会員の入会等」と、いろいろな対策をご教授いただきました。クラブ活性化に向けて、この一年頑張って参ります。

鹿児島東部分区　志布志ロータリークラブ

会長　竹井　克実

9月12日夜間例会にて押川弘巳ガバナー・三浦優ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問を執り行いました。先ず、事前の会長幹事会では現在のクラブ概況や今後の活動計画についての説明を行い、その後ガバナーよりご指導をいただきました。

公式訪問例会では、皆で夕食をはさみ、適度の緊張と明るい雰囲気の中ガバナーアドレスをいただきました。その中で「変化をもたらす」という今年のテーマについて事例を交えながら解りやすくお話しいただき、時間が過ぎるのが早く感じました。例会後のフォーラムでも、長期計画について発表の後、的確なアドバイスを頂き、今後のクラブの方向性を明るく照らし導いて頂いたと感じました。

短い時間ではありましたが、有意義な公式訪問となりましたことを会員一同心より感謝申し上げます。

鹿児島東部分区　志布志みなとロータリークラブ

会長　岡田　琢也

志布志みなとロータリークラブでの押川年度のガバナー公式訪問は9月6日(水)、夜例会にて和やかな雰囲気の中有意義に行われました。

公式訪問の冒頭では、今年度入会された南会員と馬場添会員の2人の新入会員に押川ガバナーから直々にロータリーバッチの

授与を行なっていただきました。

クラブフォーラムでは、当クラブ会員を代表して「クラブ長期計画」を黒木会長エレクト、「クラブ研修の取り組み」を中山研修リーダーシップ委員長の2名に発表させていただきました。

ロータリーの高齢化が進み危機感を募るクラブが多い中で、我がクラブは出席率の問題を抱えるも会員平均年齢53歳と幸いに会員の年齢構成は理想的であることを押川ガバナーから言われ改めて実感しました。

今年度のテーマの一つ「純増1名」を確実に達成し、それにとどまらず来年度20周年を迎えるにあたって、さらなる会員増強を図るためには、地域やロータリーを取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながらも会員一丸となり心を一つにする必要性を認識一致しできました。

鹿児島東部分区　串良ロータリークラブ

会長　濱上　正信

9月4日RI第2730地区押川ガバナー並びに東部分区三浦優ガバナー補佐、そして昨年度IMでお世話になりました久保田茂随行者をお迎えし公式訪問例会が開催されました。初めに、会長幹事との面談で、それぞれの現状・課題・目標等についいて話し合われガバナー・ガバナー補佐からご指導を頂きました。

その後、通常例会で、ガバナーアドレス・写真撮影・クラブフォーラムが行われ①クラブ研修会の取り組み状況②戦略計画について会員が発表後、ガバナーよりアドレスを頂きました。今回の「変化をもたらす」「入りて学、出でて奉仕せよ」と言う面で、ロータリアンが、奉仕の心を磨いて、今までの倫理運動に加えて、倫理実践運動をしてください。又、特に会員増強のことを熱く語られました。増強は、今までのやり方ではいけない、根本的にやり方を変えていかないといけないと。入会しやすい、そしてクラブ運営も柔軟性のある運営が求められていること。串良クラブの１０年後・２０年後のクラブの存続の為にも若い会員、女性会員の増強に力を入れることも考えて欲しいとご指導頂き感謝致します。有り難うございました。

鹿児島東部分区　鹿屋ロータリークラブ

会長　奥村　勝利

押川ガバナーの公式訪問においては、国際ロータリー イアン・ライズリー会長のRIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」についての説明をしていただき、奉仕の理念を踏まえ実践に重点をおいた行動を実行することにより奉仕を通じて変化をもたらすことの大切さと、押川年度地区テーマ「ロータリーを知り、理解を深めよう」のもと、地区活動方針、活動計画の説明を聞き、地区研修委員会の充実（RLI研修）や戦略計画の重要性また会員増強の必要性を会員一同改めて認識致しました。

私共、鹿屋ロータリークラブの現状については戦略計画の中で、3年間で会員を51名から60名に増やすことや、クラブ内の研修（鹿屋塾、オリエンテーション）、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブとの連携、協力体制、本年度26回目になる「なわとびチャンピオン大会」の実施、親睦活動（ゴルフ同好会、釣りクラブ）広報活動状況等の報告をさせてもらいました。
本年度は鹿屋ロータリー創立60周年の年にあたり、親睦活動やさまざまな研修を通して、会員相互の理解を深め、「奉仕のこころ」を広く広められればと思います。

鹿児島東部分区　鹿屋西ロータリークラブ

会長　池田　志保子

9月13日、押川ガバナー、三浦ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問がありました。多くの御意見と御指導を受けました。特に３年戦力の重要性を強調されました。１年目は計画、２年目は実行、３年目は検証、会員増強については、40歳代と女性会員を増やす。今の年齢構成では弱体化する為、計画的な増強が必要である。40歳代を入会させる為には40歳代の意見を傾聴し、定款細則の見直しも視野に入れる事。

又、インターネットで「マイロータリー」を使う。研修委員会でロータリー用語を学ぶ。西ロータリーの認証ポイントを活用する。グローバル補助金の活用→計画・実施→検証。

各な分野を学びました。西ロータリー４０周年を迎えてさらに学ぶことが出来ました。夜は東部分区のロータリーと合同で、ガバナーとガバナー補佐を迎えての交流会があり、お二人の人柄が場をなごませて頂き、楽しい宴でもありました。ありがとうございました。

鹿児島東部分区　かのや東ロータリークラブ

会長　八木　申一郎

9月14日（木）　2730地区押川弘巳ガバナー、東部分区三浦優ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会が行われました。会長幹事会では活動計画の報告に基づいて押川ガバナーの見解及びロータリーについての考え方を非常に興味深くお聞かせいただきました。

本年度テーマの「変化をもたらす」について明解に解説していただき、行動をおこしていくことの必要性を情熱をもって語られていたのがとても印象的でした。

また例会及びフォーラムでも本年度テーマ及び自らのロータリー哲学をわかりやすくお話ししていただきガバナーのお人柄に接するとともに会員とのコミュニケーションもとっていただいて和やかな雰囲気の中に本年度の公式訪問が終了致しました。ご指導に感謝して、さらに今後の活動につなげて参ります。

鹿児島東部分区　きもつきロータリークラブ

会長　田中　俊治

2017年9月7日（木）押川弘巳ガバナー、三浦優ガバナー補佐、長嶺貴臣地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。会長・幹事・会長エレクトを交えての懇談会では、今年度、変更した所を報告し、これに対しましてガバナーより、例会及び会員増強の効果的なクラブ作りの進め方などをご提案いただきました。

ガバナーアドレスでは「職業奉仕を一つの信念とし、ロータリーでは奉仕の心を磨く場とし私たちは行動を持って実践し奉仕を通じて変化をもたらします」と言えるようなロータリアンになってほしいとアドレスを賜りました。

また、クラブフォーラムでは「慈愛、寛容、忍耐、として家庭、職場、地域社会の善意の働きをする事によりロータリーの未来は開けます。この善意が大きな力となって地域社会や国際社会を動かします。」とご指導頂きました。

今回ご提案、ご指導頂きました所を踏まえて、今後のクラブ作りに取り入れて行きたいと思います。

鹿児島東部分区　南九州大崎ロータリークラブ

会長　市坪　新悟

本年度ガバナー公式訪問は、押川　弘巳ガバナー・三浦　優東部分区補佐・加藤　優二（宮崎北RC幹事）士のお三方をお迎えして行われました。会長幹事会に於いて具体的なマイロータリーの活用方法・未来に向けたクラブ組織の課題等に関する情報を頂き私の長年の疑問が解き明かされその活用方法の糸口が開かれました。ガバナーアドレス・例会テーマの質疑応答の中で、本年度テーマ「ロータリー：変化をもたらす」（実践するロータリー）の意義の重要性と他クラブのそれに向けた具体的実践的運営の活動事例、今後のクラブ会員増強に当って等のもたらもの意味するものなど解りやすくご指導いただき改めてクラブの平均年齢の若返り（当クラブは平均年齢５０代前半ですが）会員増強におけるクラブ細則の具体的活用術等10年後に向けたクラブの在り方が見えてきたような気がいたします。いずれにしろ東部分区最後の公式訪問でお疲れのところにも係らず会員一同丁寧な指導の下楽しく学び過ごせたことを心より感謝申し上げます。

インターアクトクラブ歳末たすけあい募金活動報告

都城北ロータリークラブ　青少年奉仕・IA 委員長 榎木 敏浩

都城北ロータリークラブが推奨する「都城聖ドミニコ学園高等学校インターアクトクラブ」による歳末助け合い募金活動が12/16(土)に、タイヨー甲斐元店で13:00から行われました。引率のインターアクトを担当して頂いています「坂元先生」のお話では、現在、インターアクト生は、３学年併せて、60名程度ということです。

時間帯を分けて、担当の引率の先生と学生が1時間おきに、3グループ程に分かれ、女子学生らしい、はつらつとした声で、一生懸命、募金を呼び掛けていました。店に買い物に来店される方々も、かなりの方々が募金され、中には、身障者高齢者が、車まで取りに来るように合図をされる風景も見かけました。次回も一緒に立ち合いたいと思います。

鹿児島RC新春合同例会報告

ガバナー月信委員長　桑畑　誠

2018年1月11日(木)に鹿児島サンロイヤルホテルで鹿児島市内ロータリークラブ新春合同例会が開催されました。鹿児島市内10クラブによる合同例会で303名にご参加いただき、ゲストとして鹿児島市長　森博幸様、宮崎から押川弘巳ガバナーにもお越しいただきました。

鹿児島東RCの黒木博幸会長の点鐘に始まり、国歌斉唱、奉仕の理想斉唱が行われました。その後の乾杯の際は、ガバナー・ガバナー補佐・鹿児島市長・各クラブ会長に登壇いただき、乾杯音頭を丸山修 鹿児島市内分区ガバナー補佐が行いました。300名を超える人数が揃っての乾杯は壮観で、鹿児島の勢いが見えるようで今期の活動に弾みがつくのではないかと感じさせませした。

押川ガバナーからはロータリー活動のポリオ撲滅や会員増強の必要性のお話がありました。

鹿児島市長より「鹿児島市政について～明治維新150周年を迎えて～」のテーマのもとお話をいただきました。最初に、出来たばかりの鹿児島市のPR動画「維新 dancin'　鹿児島市」の映像放映からはじまったのですが、こちらは鹿児島実業高校に通う男子新体操部の生徒が太い眉毛の西郷どんのキャラクターに扮し、鹿児島市の名所を華麗なダンスとともに紹介するという、とてもユニークでノリのいいＰＲ動画でした。

大河ドラマ西郷どんが高視聴率ではじまった報告や、県内各所での撮影、脚本家、出演者さんによトークショーで盛り上がっている現状の報告があり、西郷どんの生まれ育った町の大河ドラマ館がオープンする事や維新ふるさと館のリニューアル、歴史ロード維新ドラマの道、西郷銅像撮影所の設置、偉人に扮したまちなかおもてなし隊結成など観光振興に力を入れ、これらの活動をとおしてますます盛り上げていきたいと力強く話をさまれました。

また、成長可能性ランキング上位に位置している鹿児島市の魅力をさらに充実させていくために今後すすめていく次代の「まち」づくり、「ひと」づくり、「しごと」づくりへのチャレンジのお話があり、これからの市政に対しての考えを映像を交えながら分かりやすく説明いただきました。

横山誠二 鹿児島北ＲＣ会長エレクトの閉会の辞の後に全員で、手に手つないでのロータリーソングを歌い結束を強めてからの点鐘となりました。

ロータリー：変化をもたらす

2017-18 国際ロータリーテーマ
ロータリー：変
DISTRICT 2730
Kagoshima Chuo
Rotary

明治維新１５０周年を迎えて

鹿児島市内ロータリークラブ新春合同例会
ロータリー：変化をもたらす

鹿屋西ロータリークラブ創立40周年事業を終えて

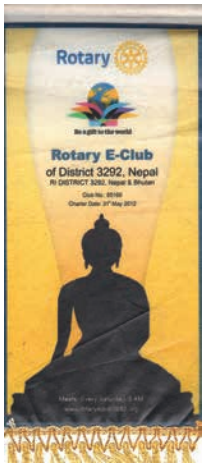
広報・メディア・ＩＴ委員長　志村正子　公共イメージ委員長　久木田弘

ＲＩ2730地区鹿屋西ロータリークラブの創立40周年事業は、池田志保子会長、風呂井敬実行委員長、「共に生きた40年、願うは久遠の平和」のスローガンの下、8月の第一部と11月の第二部の編成で実行された。

第一部では、8月18-19日の二日間、鹿屋市教育委員会、淡交会とのコラボで、作文コンクール「平和の花束」に併せ、茶道裏千家千玄室大宗匠の講演会、千玄室氏を囲んでの交流懇親会、鹿屋平和記念献茶式を実施した。ロータリー日本財団の理事長であり、特攻隊員でもあった、矍鑠たる９４歳の大宗匠をお迎えして、鹿屋の地で、感動の第一部を実施できたことは奇跡のようであった。

第二部（記念式典、記念講演会、祝賀会）は11月18日にホテルさつき苑で実施された。式典途中、記念事業の一つとして鹿屋市内各小学校にバラ（25周年記念事業にて新品種のばらを鹿屋市に寄贈〝プリンセスかのやと命名〟）の苗が寄贈された。式典エピローグでは、作文コンクールの最優秀賞作品の朗読に続き、プロデュースをお願いした演出家の松永太郎氏（2015-2016年度鹿屋西ロータリークラブ賞受賞者）が「平和の花束」のメッセージに触発されて作詞・作曲された合唱曲が披露され、感動を呼んだ。記念講演会は、書家の金沢泰子・翔子さん母娘による講演「ダウン症の娘とともに生きて」と揮毫「共に生きる」で、再び感動。最後の記念祝賀会ではロータリー川柳の紹介などもあり、和やかに終了した。

クラブ会員皆が心をこめ、心をひとつにして力を結集した40周年記念事業は、やり遂げたすがすがしい余韻の残る記憶遺産となりました。



― Eクラブ便り ―

2730ジャパンカレントロータリーEクラブ　戸高豊文氏が ネパールロータリーEクラブを訪問されたのでご紹介します。

・訪問日：2017年11月27日
・訪問地：ネパール、カトマンズ郊外のパターン市の小学校
・案内：Onil Shresthaさん・Dangol Sunilさん

みなさんもご自分が小学校の時のことを思い出すことがあると思います。その時、どんなことを思い出しますか？　優しかった先生、校庭の大きな木、あるいは一緒に遊んだ友達……

今回私が訪問したネパールの小学校の子どもたちにとって、小学校の思い出はきっと「ロータリーのマーク」と「Service Above Self」の言葉でしょう。荒廃した小学校の施設と授業内容の充実を行い、貧しい子どもたちに充分な教育の機会を与えていきたい……。そんな思いからネパールRECの活動が始まりました。この学校はネパールRECが他のクラブと共同して支援していますが、校門の上、校舎の壁面にはロータリーのマークと「Service Above Self」の言葉が大きく掲げられていました。さらにはトイレや手洗い場の設置、図書の寄贈も行われています。このようなロータリーの支援の結果は画期的なものとなりました。この小学校は昨年までは生徒数が20名にも満たず廃校寸前でしたが、現在の生徒数は70名。きれいなユニフォームに衛生的なトイレ、明るい笑顔……はしゃぎまわる子ども達を見ていると、ロータリーがこうやって素晴らしさ教育の機会を提供しているのだと感激しました。授業料を支払えない困窮した家庭環境の児童でもこの小学校に通えます。それは全校生徒70名の内、10名はロータリーが奨学金を支給しているからです。

この学校の先生方にもロータリーの精神が浸透しています。職員室の壁にはネパール語で書かれた「４つのテスト」が掲げてありました。想像してみてください。この学校の先生方は毎日、壁に掲げてある「４つのテスト」を見ながら、感じながら、子ども達に接しているのです。さらには一人の高齢の国語の先生はなんと盲目の方でした。それでも他の先生が読む「４つのテスト」を胸に刻みながら子ども達に接しているのでしょう。こうやってロータリアンそのものが「ロータリアンとしての誇りと責任」を持ちながら、社会や家庭で、大きな影響を与えているのか、世界のロータリアンの姿です。そのことを次世代にもつなげていくことが大事なことだろうと感じました。

※ ネパールRECが支援している小学校のFacebookです。ぜひご覧ください。→

えびのロータリークラブ夫人の会「クリスマスローズの会」活動報告

えびのロータリークラブ　石坂乃里子

野中玄雄パストガバナのお声かけで発足したえびのロータリークラブ夫人の会「クリスマスローズの会」も早や二歳になりました。年２～３回のペースでイベントを開催していますが、今年は夏に「五角形の竹箸つくり」。そして先日「ハンドベル体験会」を致しました。

「五角形の竹箸つくり」は名誉会員である押領司勲さんのお宅で６月に開催。「型にはめて回しながらカンナで削っていけば簡単にできるよ」との言葉とは裏腹に、削っても削っても五角形にはならず、悪戦苦闘の２時間となりました。その後は押領司さんの奥様の心づくしのお料理に舌鼓をうち、暖かいおもてなしに一同感激しました。お箸はどうなったかって？殆どすべて手伝って頂きながらなんとか二本作りました。

「ハンドベル」は、クリスマスソングなどを奏でるのによく使われる楽器ですが、一人で１つないしは２つの音を担当して、メロディーに合わせて振って音を出します。ほとんど初心者で、始めは間違えてばかりでしたが、数回やる内にコツがわかってきて、「エーデルワイズ」や「きよしこの夜」などを演奏するまでになりました。間違っては笑いころげ、うまくできれば歓声をあげ、童心にもどって真剣に楽しみました（笑）。忘年会では、ロータリアンの皆さんの前でご披露しようと張り切っています。

これからも、楽しく美しくをモットーに活動を続けていければと考えています。

★文庫通信★

364号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

◎「国際ロータリー会長 田中作次さんに聞こう!ロータリーとは、奉仕とは、人生とは（講演及び会員との質疑応答）」
田中作次　〔2017〕11p　（D.2570地区大会報告書）

◎「地球温暖化防止の切り札は?」　牛山 泉　2017　17p（D.2550地区大会の記念誌）

◎「世界を照らすLED」　天野 浩　2017　9p（第45回ロータリー研究会報告書）

◎「四国で一羽の蝶々がはばたくと、世界でハリケーンが生じる~情熱と意志を持って」　北川正恭　2017　10p　（D.2670地区大会記録）

◎「安全保障と危機管理」　越野修三〔2017〕10p（D.2830RYLA報告書）

◎「日露首脳会談と政局の行方」　岸井成格〔2017〕19p（D.2660地区大会報告書）

◎「母子の健康」　対馬ルリ子　2017　6p　（D.2830地区大会記録誌）

◎「福井県の恐竜時代」　東 洋一　2017　4p　（D.2650地区大会記念誌）

◎「山形大学のナスカの地上絵研究」　山形大学研究チーム　2014　5p　（D.2800地区大会講演集）

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫
〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号　黒龍芝公園ビル3F　開館＝午前10時~午後5時　休館＝土・日・祝祭日
TEL03-3433-6456　FAX：03-3459-7506　http://www.rotary-bunko.gr.jp

地区行事日程

日程				行事	時間	場所	摘要
2017～2018年度	2月	4日	日	宮崎北部分区ＩＭ	9:30～	ガーデンベルズ延岡	
		10日	土	南九州大崎ロータリークラブ20周年記念式典	15:00～	あすぱる大崎	
		11日	日	鹿児島北部・西部分区合同ＩＭ	10:30～	出水市鶴丸会館	
		17日	土	宮崎中部分区ＩＭ	14:00～	ホテル四季亭	
		24日	土	米山奨学生修了式	15:00～	ニューウェルシティ宮崎	
		25日	日	佐土原ロータリークラブ創立30周年記念式典	10:00～	シーガイア コンベンションセンター	
				IA　インターアクト委員　会議			
				第2回派遣学生オリエンテーション			青少年交換委員会
			土	RA　分区合同研修会			
	3月	1・2日	木・金	第6回日台親善会議		台湾　高雄市　漢来ホテル	
				RA　第2回RA会長幹事会			
		3日	土	宮崎RC 65周年記念式典	15:30～	宮崎観光ホテル	
		8日	木	IA　インターアクト委員　会議			
		15日	木	第3回派遣学生オリエンテーション			青少年交換委員会
		〃	木	RA　第30回全国RA研修会		茨城県水戸市	
		17・18日	土・日	次年度地区チーム研修セミナー		鹿児島県民交流センター	
		〃	〃	会長エレクト研修セミナー（PETS）		鹿児島県民交流センター	
				ガバナー補佐会議 予定			押川G・役員
		31日	土	宮崎西都分区ＩＭ		都城総合文化ホール	
		31日	土	宮崎西都分区ＩＭ　懇親会		ロイヤルホテル	
				米山奨学委員会新奨学生オリエンテーション			
	4月	7日	土	鹿屋RC 60周年記念式典		さつき苑	
		12・13日	木・金	女性増強委員会　社会奉仕活動			
		〃	木・金	第4回派遣学生オリエンテーション			青少年交換委員会
			日	第2回地区RA委員会	9:30～12:00	都城市地区事務所	
			日	第3回RA地区連絡協議会	9:30～12:00	姶良市加治木町福祉センター	
		22日	日	米山奨学生オリエンテーション	15:00～	ニューウェルシティ宮崎	
		26・27日	木・金	第2回地区RA合同委員会	13:00～15:00	姶良市加治木町福祉センター	
		23～27日	木・金	第3回地区運営委員会		都城市　メインホテル	
	5月			第5回派遣学生オリエンテーション			青少年交換委員会
		12・13日	土・日	第4回受入学生オリエンテーション		大阪・京都・東京	青少年交換委員会
			〃	福岡・佐賀・長崎合同ツアー		全国青少年交換会議(千葉)	青少年交換委員会
		27日	日	地区研修協議会		鹿児島市民文化ホール	
		26・27日	土・日	RA　2018-19年度第47回RAのための研修会			

米山記念奨学金 12月の寄付金傾向

12月分合計額　180,945,827円
累計額　897,269,564円（前年同期比4,850万円増）

参考　前年度１２月分合計額：156,963,046円、累計額：848,746,919円

普通寄付金

12月当月　4,425,536円
12月末累計　238,151,471円

（前年度比 0.89%増）
（　〃　210万円増）
（予算達成率 56.7%）

普通寄付金上期分は2,077クラブ(92%)から納入されました。(昨年度は2,063クラブ)24地区が納入割合90%を超えました。また、2018年も引き続き、下期分のご送金もよろしくお願い申し上げます。

★普通寄付金納入状況・上期分（納入数/クラブ数）

地区	納入数/クラブ数	割合	地区	納入数/クラブ数	割合
2500	**56**/67	84%	2610	**57**/64	89%
2510	**52**/69	75%	2620	**70**/79	89%
2520	**69**/79	87%	2630	**75**/76	99%
2530	**60**/66	91%	2750	**83**/90	92%
2540	**31**/42	74%	2760	**81**/84	96%
2550	**47**/51	92%	2780	**完　納**	100%
2560	**53**/56	95%	2640	**61**/69	88%
2570	**50**/51	98%	2650	**91**/97	94%
2770	**70**/74	95%	2660	**78**/82	95%
2790	**80**/83	96%	2670	**67**/74	91%
2800	**49**/50	98%	2680	**69**/73	95%
2820	**52**/55	95%	2690	**64**/66	97%
2830	**35**/41	85%	2700	**56**/61	92%
2840	**45**/46	98%	2710	**69**/73	95%
2580	**64**/69	93%	2720	**68**/75	91%
2590	**完　納**	100%	2730	**48**/65	74%
2600	**53**/55	96%	2740	**51**/57	89%

合計：　納入数2,077RC
地区ロータリークラブ数　2,262RC
普通寄付納入実績 12月31日現在、当会入金分

特別寄付金

12月当月　176,520,291円
12月末累計　659,118,093円

（前年度比　7.58%増）
（　〃　4,640万円増）
（予算達成率 70.9%）

12月末累計額は前年同期比7.58%増、約4,640万円の増加となりました。先月に引き続き、累計額では直近10年間のうちで上位3番目となる高額寄付のまま好調に推移しています。ご寄付をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

★ガバナー公式訪問

D2590川崎幸RC　5万円

★地区大会

D2840　14.5万円

★高額寄付者（一度に100万円以上の寄付）

D2840 高崎北RC　樋口哲雄氏(藤井昌子氏)
500万円 累計500万円(詳細はハイライト214号に記載)
D2650 京都南RC　中村恵行氏 120万円　累計170万円
D2660 大阪東RC　若林紀男氏 100万円　累計465万円
D2660 大阪中央RC 笹木秀雄氏 100万円　累計300万円
D2670 高知西RC　山崎啓輔氏 100万円　累計140万円
D2670 松山西RC　米山徹朗氏 150万円　累計640万円
D2680 宝塚RC　福間則博氏 100万円　累計210万円
D2720 玉名RC　杉谷くに子氏 100万円　累計100万円

★高額寄付法人（一度に100万円以上の寄付）

D2580 東京RC　第一生命ホールディングス(株)
100万円 累計100万円　森田富治郎氏/渡邉光一郎氏

12月出席報告

日程		確定出席率%	ホームクラブ出席率%	会員数 11月	12月	女性	増減
宮崎県北部（7RC）	延岡	86.21	78.45	79	79	9	0
	延岡東	99.45	87.36	62	62	3	0
	延岡中央	89.47	87.50	53	53	6	0
	日向	76.56	71.83	20	20	0	0
	日向東	81.61	75.86	30	30	3	0
	日向中央	84.38	78.13	12	12	2	0
	門川	88.89	88.89	7	7	0	0
	平均及び合計	86.65	81.15	263	263	23	0
宮崎県中部（9RC）	宮崎	91.45	69.41	104	104	7	0
	宮崎西	87.12	69.95	103	104	7	1
	宮崎北	82.41	64.35	77	77	11	0
	宮崎南	77.84	72.16	46	46	4	0
	宮崎中央	77.71	60.51	54	53	5	-1
	宮崎東	77.78	64.65	34	34	3	0
	西都	100.00	96.05	21	20	2	-1
	佐土原	62.60	57.30	27	27	3	0
	高鍋	84.06	75.00	46	46	3	0
	平均及び合計	82.33	69.93	512	511	45	-1
宮崎県西部（8RC）	えびの	95.52	95.52	18	18	3	0
	小林	88.28	89.84	32	32	2	0
	小林中央	88.50	88.50	13	13	0	0
	都城	91.84	79.59	51	52	8	1
	都城北	79.28	70.27	40	39	6	-1
	都城西	82.05	78.63	44	44	4	0
	都城中央	84.90	68.80	31	31	5	0
	japan Current E-クラブ	92.75	92.75	23	23	6	0
	平均及び合計	87.89	82.99	252	252	34	0
宮崎県南部（3RC）	日南	96.77	77.41	33	33	1	0
	日南中央	68.18	68.17	11	11	3	0
	串間	96.98	90.92	13	11	2	-2
	平均及び合計	87.31	78.83	57	55	6	-2
鹿児島県北部（7RC）	出水	90.18	83.93	38	39	5	1
	阿久根	88.41	84.06	48	48	9	0
	川内	82.00	71.80	60	60	0	0
	薩摩川内	80.00	52.86	24	24	2	0
	串木野	85.71	85.71	7	7	1	0
	宮之城	100.00	78.79	11	11	2	0
	大口	93.18	78.40	23	23	1	0
	平均及び合計	88.50	76.51	211	212	20	1

日程		確定出席率%	ホームクラブ出席率%	会員数 11月	12月	女性	増減
鹿児島県西部（5RC）	伊集院	77.00	61	27	27	1	0
	加世田	71.15	65.38	13	13	1	0
	枕崎	63.09	60.71	28	28	7	0
	頴娃	79.63	70.37	20	19	0	-1
	指宿	80.47	67.19	32	32	0	0
	平均及び合計	74.27	64.93	120	119	9	-1
鹿児島県中部（5RC）	霧島	75.93	75.93	18	18	0	0
	国分	75.40	65.87	42	41	6	-1
	国分中央	77.78	50.00	27	27	1	0
	加治木	100.00	69.44	23	24	0	1
	姶良	91.66	62.50	16	16	0	0
	平均及び合計	84.15	64.75	126	126	7	0
鹿児島県東部（8RC）	志布志	82.76	56.90	20	20	2	0
	志布志みなと	64.00	57.60	43	43	2	0
	串良	89.43	71.54	34	34	2	0
	鹿屋	83.55	79.6	52	52	3	0
	鹿屋西	97.37	90.35	58	57	12	-1
	かのや東	91.01	81.43	42	43	0	1
	きもつき	82.22	71.11	27	27	0	0
	南九州大崎	51.28	42.31	26	26	0	0
	平均及び合計	80.20	68.86	302	302	21	0
鹿児島県市内（10RC）	鹿児島	73.64	60.25	68	69	3	-1
	鹿児島南	70.08	62.39	41	40	8	-1
	鹿児島西	73.21	67.86	76	76	0	0
	鹿児島東南	54.50	44.40	25	25	0	0
	鹿児島中央	78.29	72.37	56	55	4	-1
	鹿児島西南	81.82	69.7	11	11	1	0
	鹿児島城西	74.19	67.74	36	36	3	0
	鹿児島東	77.63	72.37	26	26	3	0
	鹿児島北	75.93	73.15	39	39	5	0
	鹿児島サザンウインド	86.67	80.00	52	51	12	-1
	平均及び合計	74.60	67.02	431	427	39	-4
鹿児島県奄美（3RC）	奄美	83.33	66.67	50	49	0	-1
	奄美中央	77.10	72.90	55	55	7	0
	奄美瀬戸内	73.68	73.68	19	19	0	0
	平均及び合計	78.04	71.08	124	123	7	-1

全体の平均及び合計	82.39	72.60	2,398	2,390	211	-8

入退会報告

入会者

ご入会、おめでとうございます。

池上　眞一　（出水RC）
喜友名榮治　（加治木RC）
久留　正嗣　（かのや東RC）
荒木　三佳　（延岡中央RC）
井上　弘之　（宮崎西RC）
加治屋淳一　（都城RC）
榎木田大資　（日南RC）

退会者

おつかれさまでした。

浜田　藤幸　（頴娃RC）
森　美智代　（国分RC）
有園　耕一　（鹿屋西RC）
髙井　隆司　（鹿児島RC）
峯山光士郎　（鹿児島南RC）
三島　浩幸　（鹿児島中央RC）
本田　貴志　（鹿児島サザンウインドRC）
岩崎　菊美　（奄美RC）
浅田　良信　（延岡中央RC）
江藤　敏治　（宮崎中央RC）
岩倉　由夫　（西都RC）
宮田　若奈　（都城北RC）
照屋　信博　（日南RC）
有嶋由紀夫　（串間RC）
大野　秀範　（串間RC）

【訂正】　月信1月号掲載

出水RC11月分例会出席（会員数）報告に訂正がありました。　○確定出席率　59.34%　⇒　74.48%　○ホームクラブ出席率　57.69%　⇒　72.41%

日南RC11月分例会出席（会員数）報告に訂正がありました。　○確定出席率　37.24%　⇒　97.24%

A high-quality life
上質な暮らし

DESIGN&BUILD
Ai HOME

時を経て、新しく

「時代」という言葉は、時という流れの中で「代」わり続ける「今」という時間を言い当てている言葉なのかも知れない。大切な「今」は時の移ろいにつれて代わり続けているようだ。「10年一昔」という言葉は、正に一時代を指すものであり、総合住宅展示場で、大手メーカーは10年間に3回も建て直して展示している。
変わりゆく「今」を追い続けている所以（ゆえん）である。

「杜のことば」モデルハウス（UMKハウジングパーク内）
（同展示場は13年間連続展示中）

佐土原展示場

『我が家リゾート』

毎週土・日曜日と祝日公開
（am10:00～pm5:00）

エアコン一台で全部屋冷暖房
マッハシステム 特許工法
年中家中暖かくて涼しい
しかも経済的！

●会場／宮崎市佐土原町下那珂（光陽台）

アイ・ホームの家づくりは、全棟性能表示です。
アイ・ホーム®

0985-73-7770
〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂3569-7
アイ・ホーム 宮崎 検索